

# 穂高幼稚園 「み～つけた！」

園庭に落ち葉が広がって冬の訪れが感じられる頃、樹齢70年の森にも冬がやってきました。クラスの木々も雪がかぶり、冬の森ではお寿司屋さんごっこ、レストランごっこ、ネコごっこ…いろいろな遊びが広がっていきました。異年齢とのコミュニケーションを通して、ごっこ遊びの楽しさや友達と一緒に遊ぶことのおもしろさを感じています。秋からの遊びを通して、異年齢との距離感がより近く、自然になり、お互いに思い、思いやるような関係性になってきたようでした。

年少さんのレストランへ遊びに来た年長さん。なに頼もうかな～？ と、悩んでいます。まだまだ働きたてのかわいい店員さんに合わせながらもおいしいご飯を味わっていました。



年中さんの部屋にできたお寿司屋さん。年少さんがふらっと1人でも食べに行ける温かいお店です。



幼稚園のあちこちへとお散歩に行くネコちゃん。どのお店もネコ OK！そんなやさしさあふれる冬の森。うれしいにや～



ここは携帯屋さん。この隣にはハート屋さん。自分たちの“やりたい”を友達と一緒に考えて、作って、お店として形にしました。



手が冷たくなってきた！  
おうちに帰るにや～





紙飛行機はこうやって、こうして…  
自分で折れる自信がつき、紙飛行機  
というモノを通して、友達とのかかわり  
も広がっていきました。

遠くまで飛ばすぞ～！せ～のっ！  
年中さんと年少さんが一緒に紙飛行機を楽しむ姿がありました。  
じゃんけんで使う紙飛行機を決めたり、飛距離を競ったり…  
異年齢であることを忘れてしまうような空気感でした。



いらっしゃいませ～  
何がいいですか？  
優しく年中さんや年少さんに聞いてくれる  
店員さん。憧れの年長さんのお店は  
いつも大繁盛です。

クラスの木々も葉を落とし、雪の結晶や  
つららが増えて冬がやってきました。



ケーキを作ったから、ショー  
ケースがないとね！ショー  
ケースはこんな扉があった  
よな…



一步踏み入ると、誰もが  
自然に背筋を伸ばしている  
お茶室。  
お茶を点てる年長さんの  
手つきは、憧れの先生  
のようです。

友達と考えを伝え合いながら、本物みたいな  
ショーケースをイメージして作っています。

